

2012年9月

個人投資家様向け会社説明会



グローバル・ゼラチンスペシャリスト
新田ゼラチン株式会社

1. 事業概要
2. 事業と市場について
3. 強みと戦略について
4. 2012年3月期業績
5. 2013年3月期見通し
6. 2013年3月期第1四半期業績
7. 配当政策について
8. 当社製品のご紹介
9. 巻末資料

〈ご案内〉

本資料に記載された見解、見通し、ならびに予測等は、資料作成時点での弊社の判断であります。その情報の正確性を保障するものではありません。市場環境等の様々な要因により、今後の業績は本資料の内容と異なるものとなる可能性があります。ご承知おきのほど、お願い申し上げます。

1. 事業概要

会社概要

証券コード	4977
社名	新田ゼラチン株式会社 (Nitta Gelatin Inc.)
本社	大阪市浪速区桜川4丁目4番26号
創業	1918年(大正7年)1月
資本金	1,577百万円
売上高	277億円 (連結:2012年3月期)
従業員数	592名 (連結:2012年3月末現在)

起業の歴史

新田長次郎

↓ 20歳で松山から大阪へ

製革工場に奉公する

↓ 類なき熱意と工夫、起業

新田帯革製造所

動力伝導用
革ベルトを
日本で初めて製造

↓ 革ベルト製造用タンニン調達

カシワ樹皮を求め
北海道に広大な
原野を購入、開拓

牛皮片等から
「にかわ」を製造

タンニン製造副産物
カシワ樹幹材や
雑木から合板
(ベニヤ板)を生産

ニッタ(株)

1885年 (明治18年)

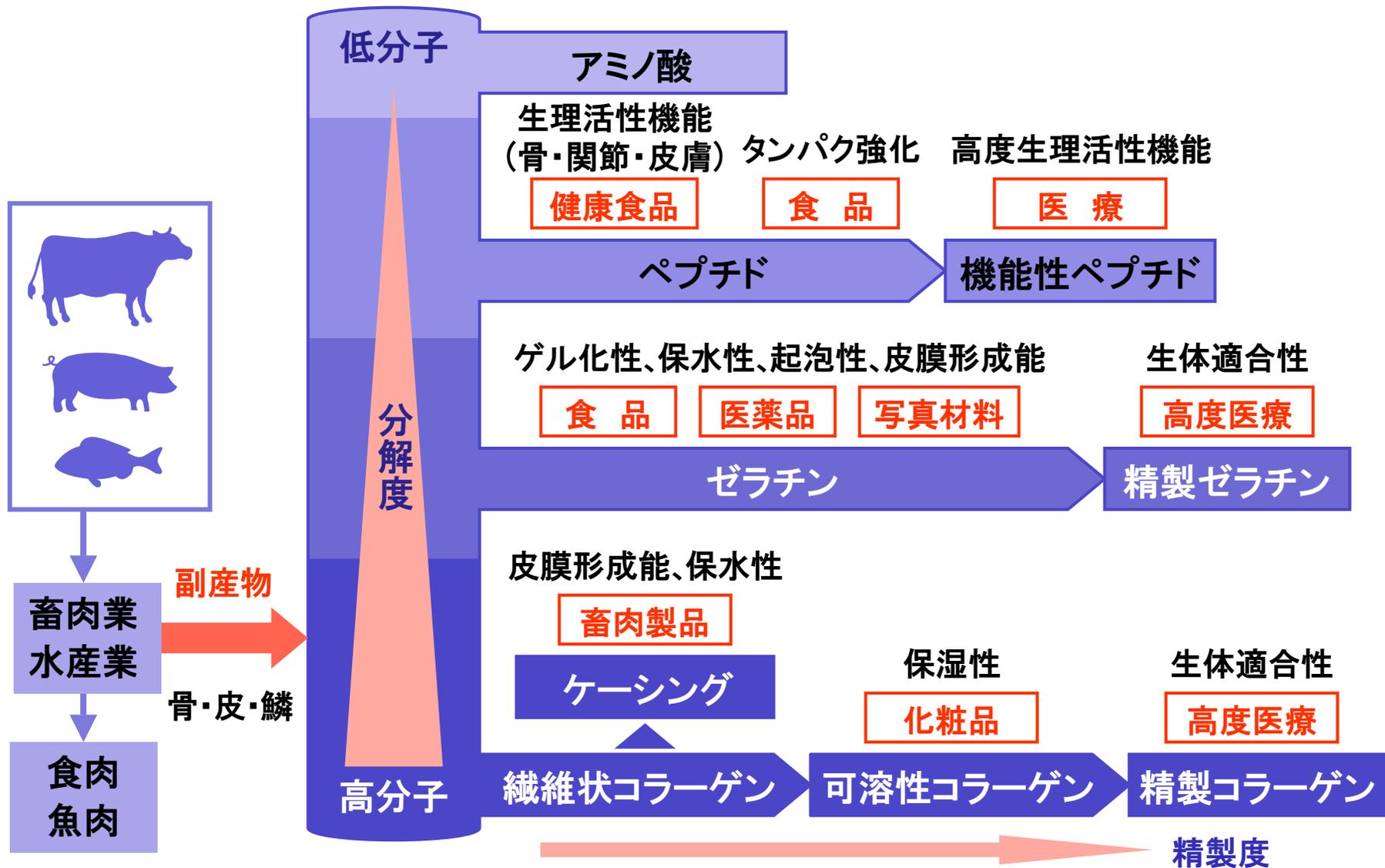
新田ゼラチン(株)

1918年 (大正7年)

(株)ニッタクス

1919年 (大正8年)

コラーゲンとゼラチン、コラーゲンペプチドの関係



市場変化への対応

ニカワ・工業用ゼラチン
食用・医薬用ゼラチン
コーシソウ
コーゲン
ペプチド
コーゲン

..... 機能性ペプチド
医療用ゼラチン・コラーゲン

2010年代 シニア向け食品：^{えんげ}嚥下食
タンパク食

2000年代 総菜：コンビニ総菜・デザート
医薬品・健康食品：カプセル

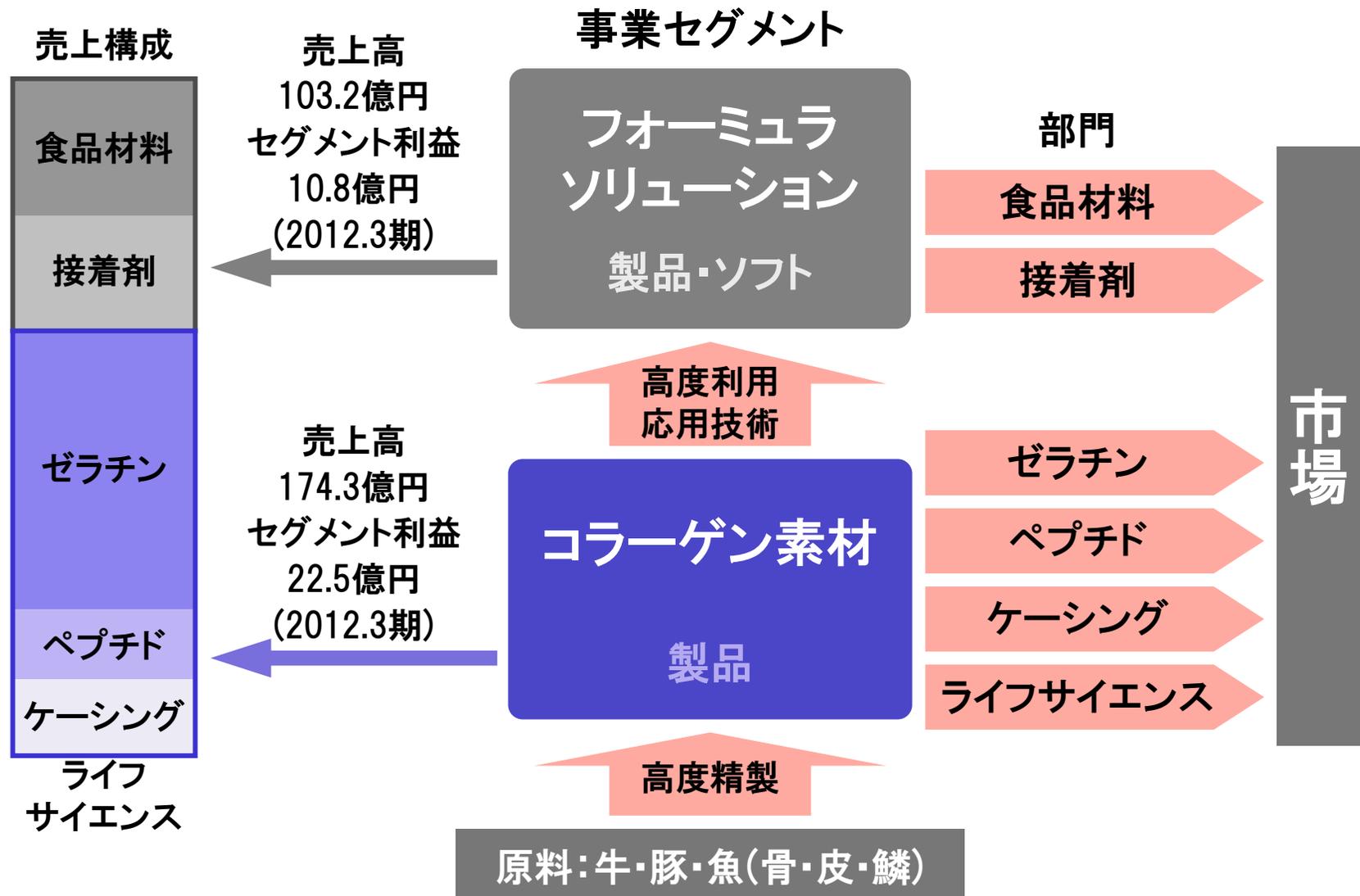
1990年代 菓子：グミ、ソフトキャンディー

1980年代 銀塩写真：写真フィルム、印画紙

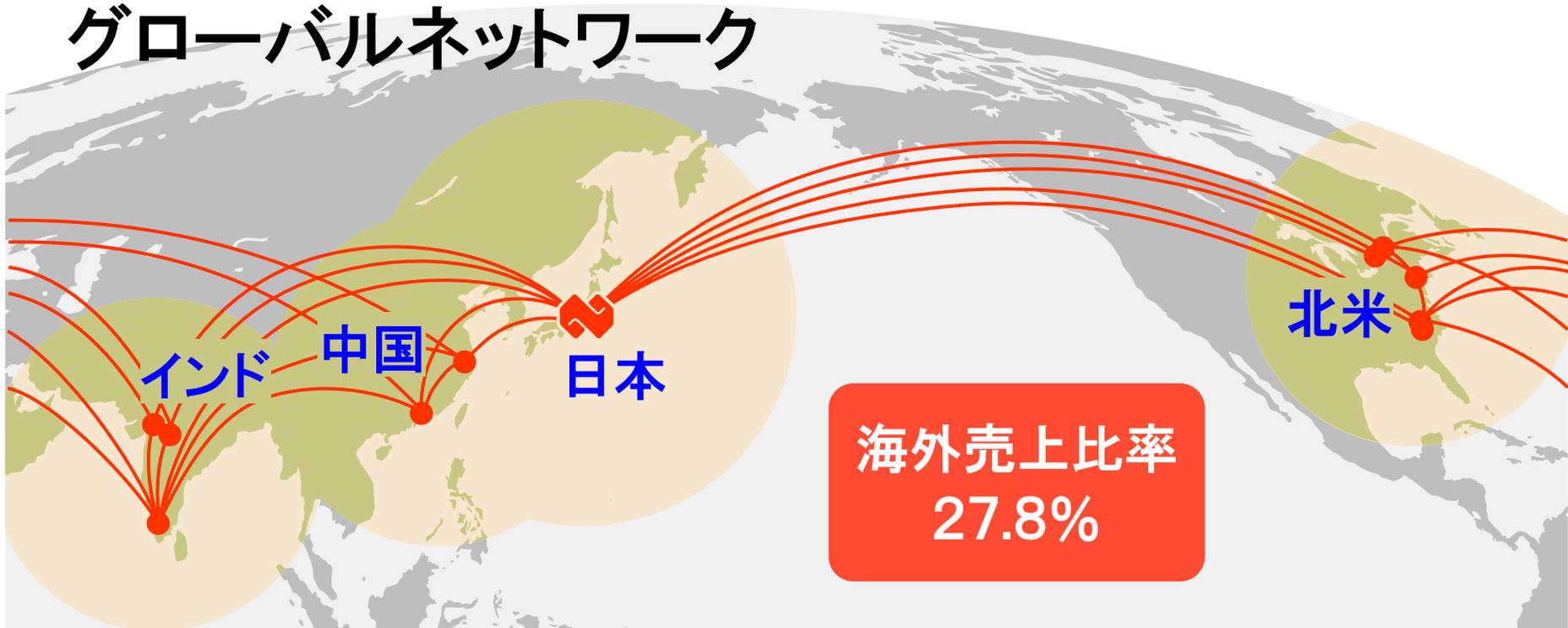
1960年代 マイクロカプセル：感圧紙

1918年 にかわ・ゼラチンの製造開始：楽器、マッチ、
レコードジャケット

事業セグメントと部門



グローバルネットワーク



ニッタゼラチンインディアLtd.



上海新田明膠有限公司



新田ゼラチン(株)

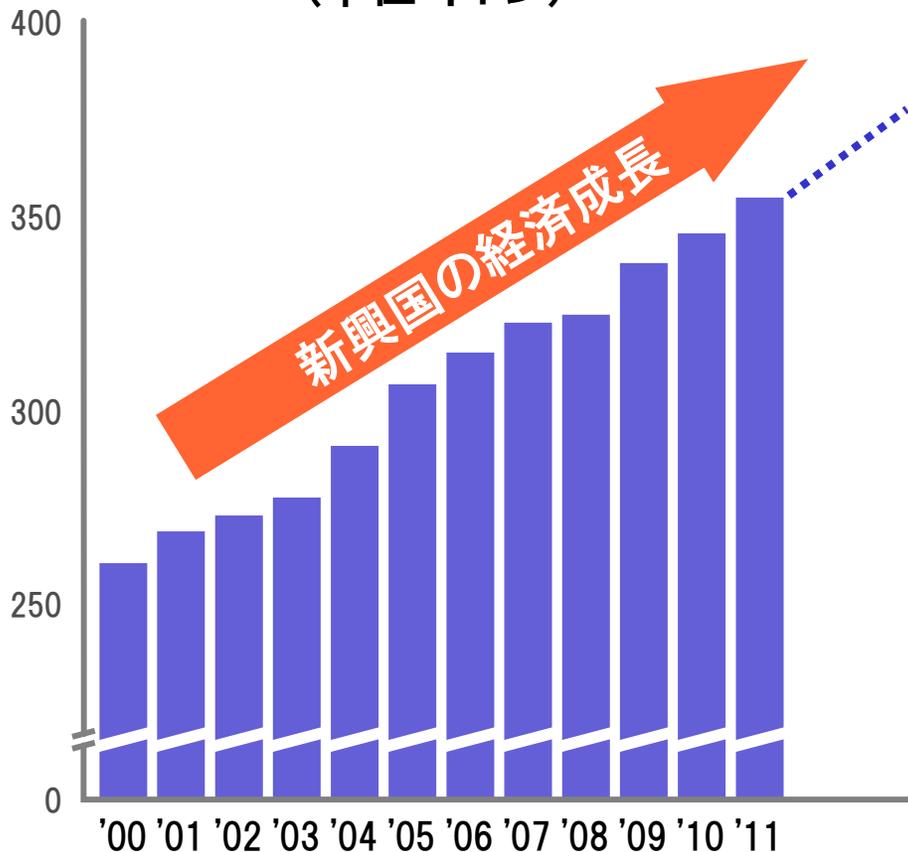


ニッタゼラチンエヌエーInc.

2. 事業と市場について

ゼラチンは古くて新しいグローバルニッチ製品

世界のゼラチン生産動向
(単位:千トン)



出典: 欧州ゼラチン工業組合、
環太平洋ゼラチン工業組合資料を当社で推計

国内総生産(GDP)と相関

アジア圏の経済成長

ゼラチン需要拡大

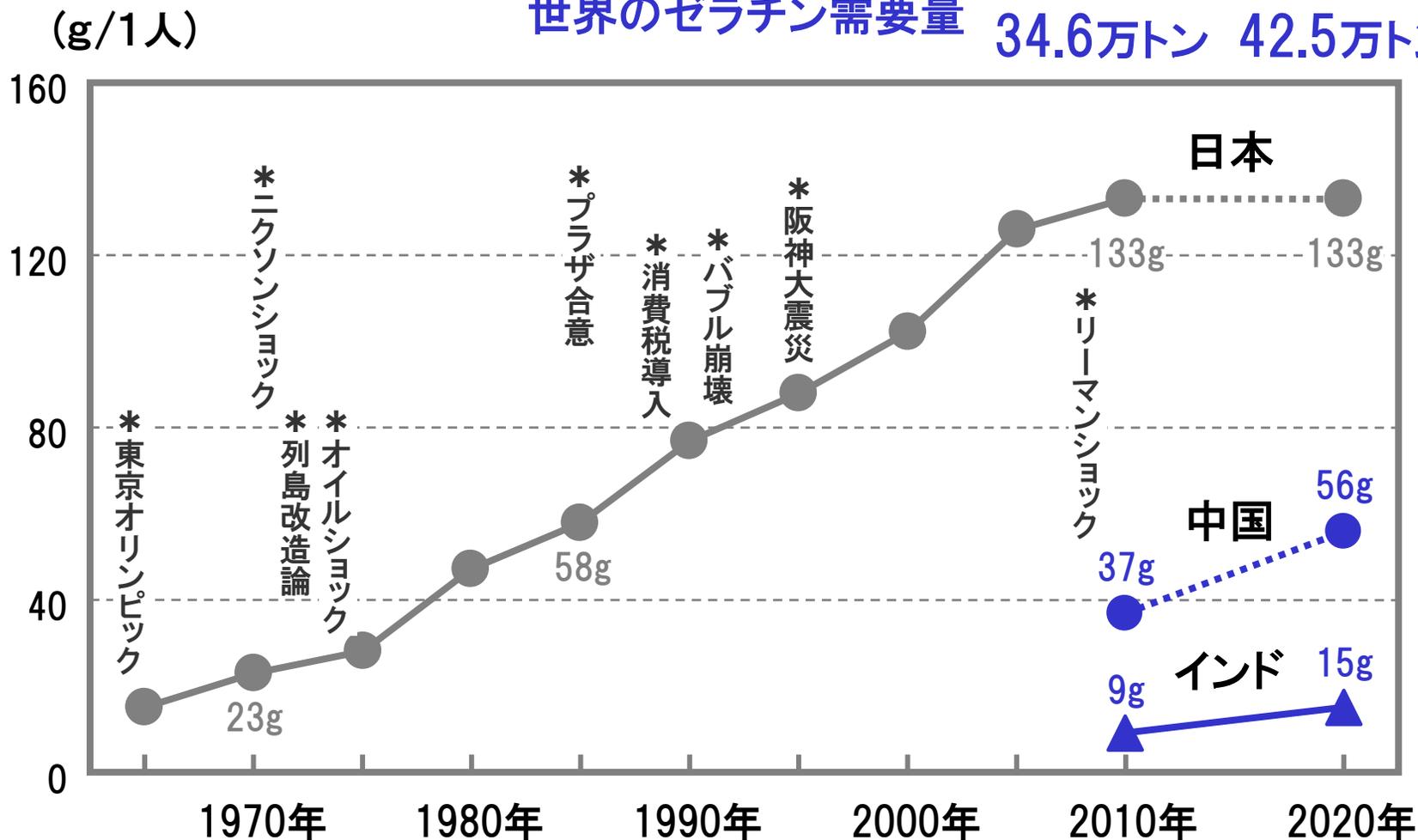
アジア主要国の経済成長率推移

国名	人口 (100万人)	2010	2011	2012 予測
中国	1348.1	10.4	9.2	8.2
インド	1206.9	10.6	7.2	6.9
インドネシア	241.0	6.2	6.5	6.1
ベトナム	89.3	6.8	6.9	5.6

出典: IMF-World Economic Outlook 2012.4

1人当たりのゼラチン消費量

世界のゼラチン需要量 2010年 34.6万トン 2020年 42.5万トン

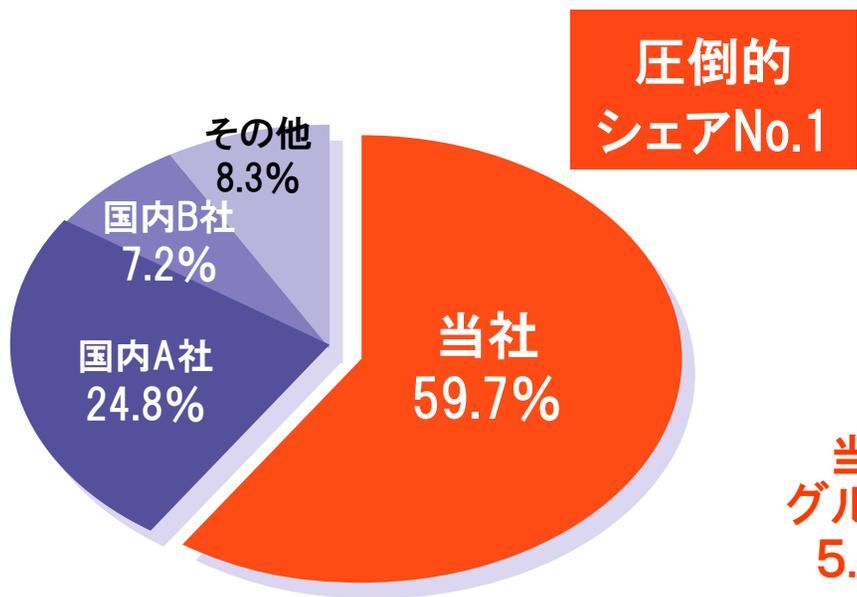


ゼラチンの特性と用途

特 性	用 途
固まる・溶ける	ゼリー、グミ、コンビニ総菜、煮こごり、嚥下(えんげ)食
食感を変える	ソフトキャンディー、お粥、ピラフ、プロセスチーズ、アイスクリーム
泡を保つ	マシュマロ、ムース、ババロア
水を抱く	ヨーグルト、プリン、小龍包、餃子、ローファットマーガリン、シップ剤
ひっつける	タブレット、ピアノ、バイオリン
膜を作る	せんべい、カプセル、フィルム
ツヤを出す	ケーキ、糖衣錠(チョコレート、くすり)
コクを出す	ラーメンスープ、タレ

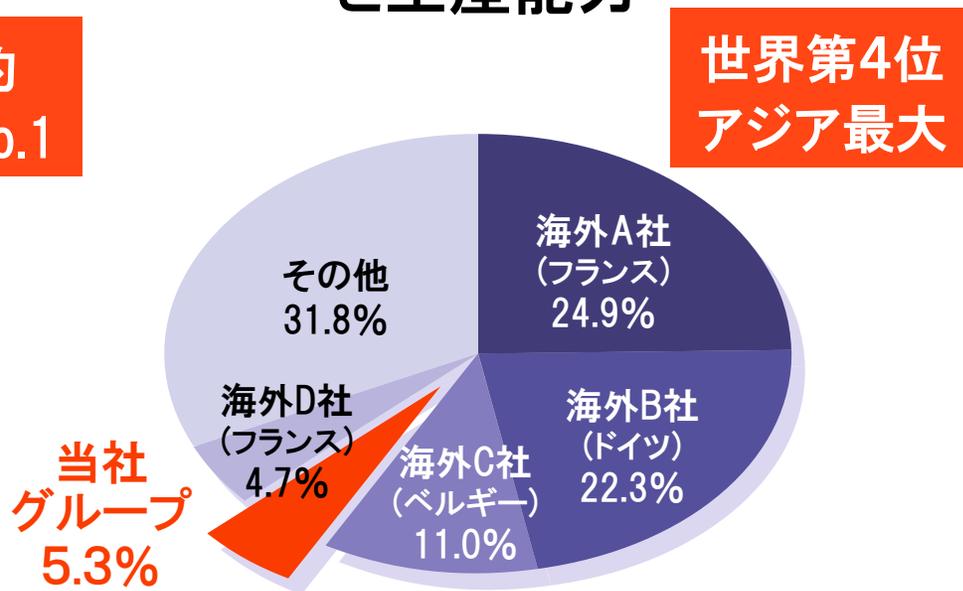
ゼラチンシェア

日本でのゼラチン販売量



出典：『日本ゼラチン・コラーゲンペプチド工業組合』
(2012年3月期)

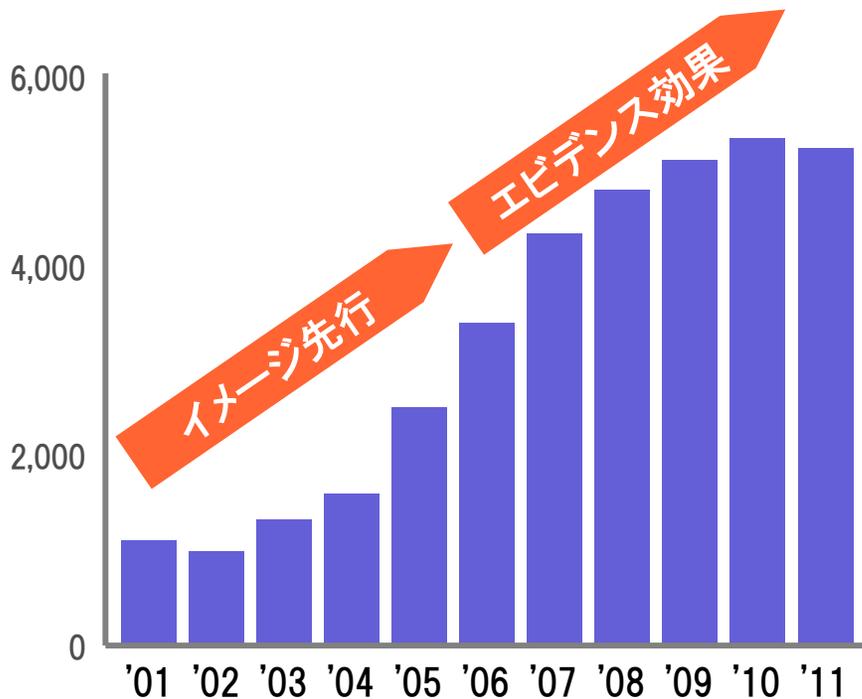
世界のゼラチン製造者と生産能力



出典：欧州ゼラチン工業組合、環太平洋
ゼラチン工業組合資料を当社調べ

コラーゲンペプチドは日本が先進国

日本におけるコラーゲンペプチド
販売量推移 (単位:トン)



出典:『日本ゼラチン・コラーゲンペプチド工業組合』



日本は世界への情報発信基地



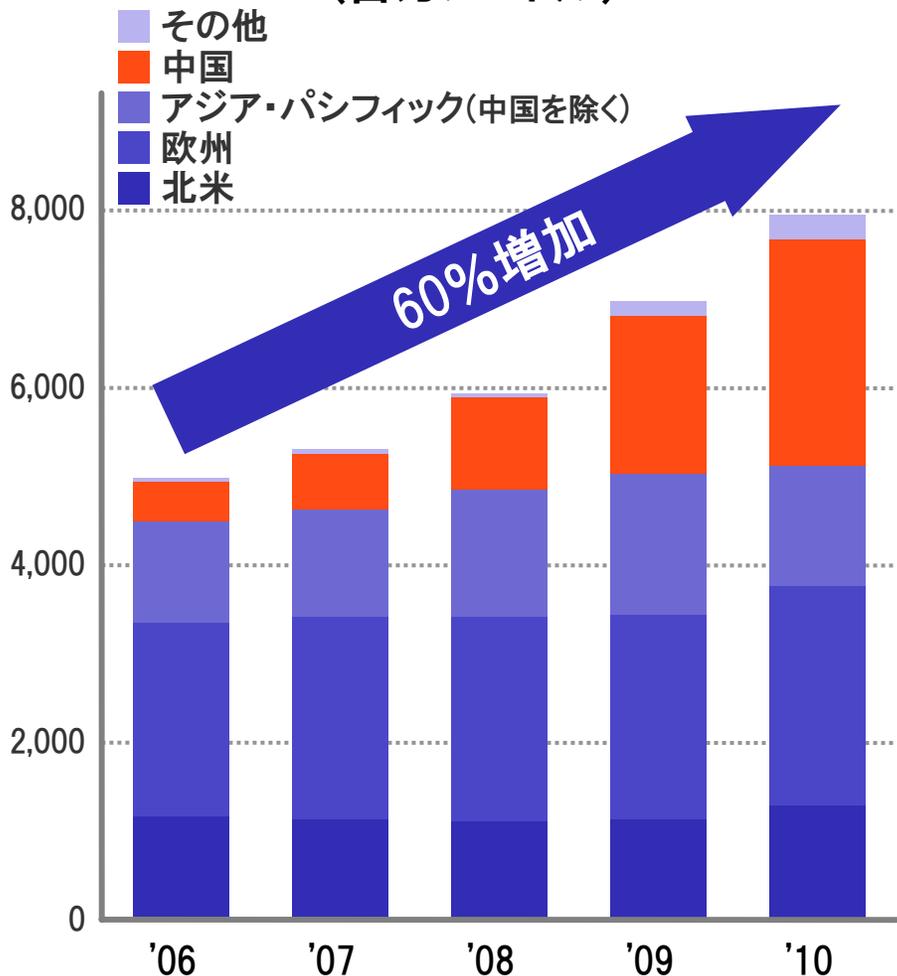
機能性研究:骨・関節・皮膚への効果

城西大学 真野 博 教授 著

日本流通産業新聞
2011.01.01

コラーゲンケーシングの市場拡大

コラーゲンケーシング生産量
(百万メートル)



コラーゲンケーシング



ソーセージ製造

3. 強みと戦略について

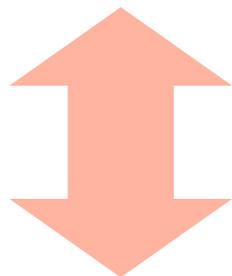
当社の強み

- 高いゼラチンシェア
国内 ▶ トップ、世界 ▶ 第4位
- 成長する3本柱
ゼラチン、ペプチド、ケーシング
- グローバルネットワーク
北米・アジアに事業拠点、販売網を構築
- ソリューション力^{リョク}
アプリケーション開発・提案

当社の成長戦略

国内戦略

新製品開発
新市場開拓

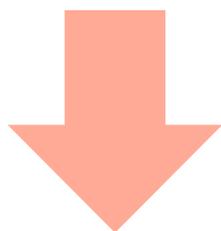


海外戦略

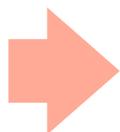
アジア・北米
での事業拡大

国内事業

新製品開発
新市場開拓



将来事業



- **ゼラチン事業**
 - 新ゼラチンの開発
- **ペプチド事業**
 - 機能性素材(ロコモペプチド)の研究開発
- **食品材料事業**
 - コンビニ・シニア向け製品開発
- **接着剤事業**
 - 高機能樹脂(シーラント)の開発
- **ライフサイエンス事業**

※ ロコモ:老化による運動機能低下

ライフサイエンス事業の戦略

● 医療用ゼラチン・コラーゲン研究開発



当社大阪工場内 ビークラス

医療用ゼラチンの事例

難聴、再生医療で改善

京都大の伊藤寿一教授と中川隆之講師らは、原因不明の「突発性難聴」の症状を再生医療で改善することに成功した。細胞の成長を促す薬剤を染み込ませたゼラチンを耳の中に入れ、弱った細胞の機能を回復させた。25人を対象にした臨床試験で効果を確認した。

「突発性」京大が臨床試験

細胞が集まる蝸牛（かきゅう）の膜に置いた。3カ月後に調べると48%で聴力がよくなった。まったく聞こえない人が音を感じる程度まで回復したり、軽度の人には正常に近い状態まで改善したりした。副作用は特になかった。今年度内にも患者を120人まで増やし、有効性を詳しく調べる試験を始める。突発性難聴の国内患者は約3万5000人。ステロイド投与で治療するが20%は効果がなく、新たな治療法が求められていた。

日本経済新聞朝刊 2010.12.2

海外事業

アジア・北米
での
事業拡大

- **ペプチド事業**
 - 生産拠点の増強
中国： 本年より稼働
アメリカ： 工場建設予定
- **ケーシング事業**
 - 最新設備導入
 - 中国での製造・販売
- **ゼラチン事業**
 - グローバル供給能力増強

アジアフォーカス

アジア圏(9ヶ国)での事業拡大の基盤

● : 当社グループ

日本

新田ゼラチン(株) [生産・販売]
彦根ゼラチン(株) [生産]
(株)アイビス
(株)アルマコーポレーション
(株)ニッタバイオラボ [販売]

中国

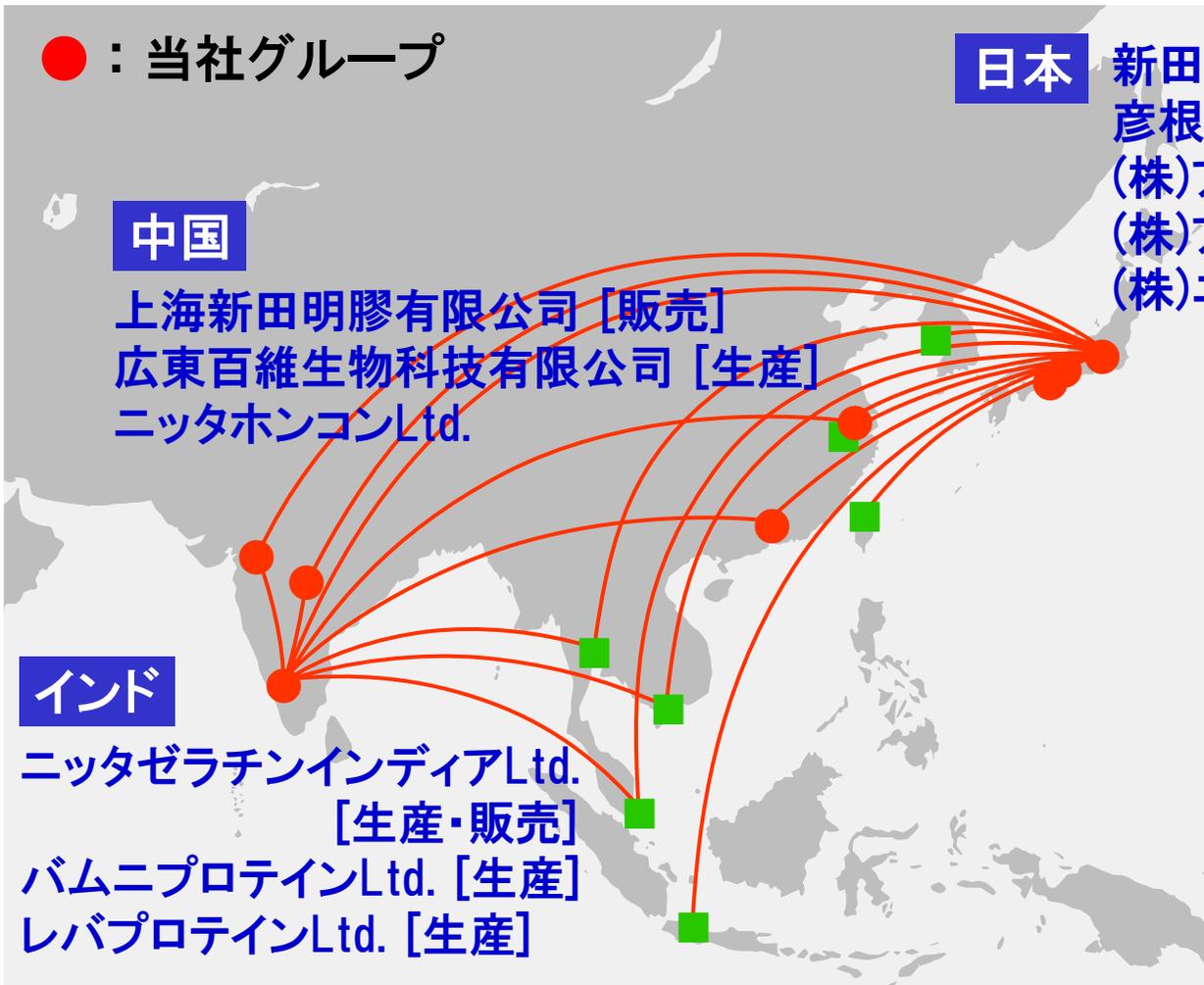
上海新田明膠有限公司 [販売]
広東百維生物科技有限公司 [生産]
ニッタホンコンLtd.

インド

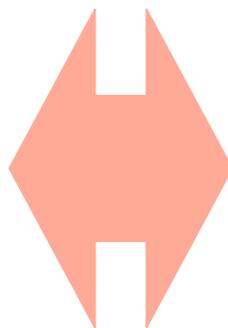
ニッタゼラチンインディアLtd.
[生産・販売]
バムニプロテインLtd. [生産]
レバプロテインLtd. [生産]

■ : 海外代理店

韓国
中国
台湾
ベトナム
シンガポール
インドネシア
タイ



フードアプリケーション



デザート



菓子



冷凍食品



コンビニ総菜



アプリケーションラボ



大阪



東京



米国(ノースカロライナ州)

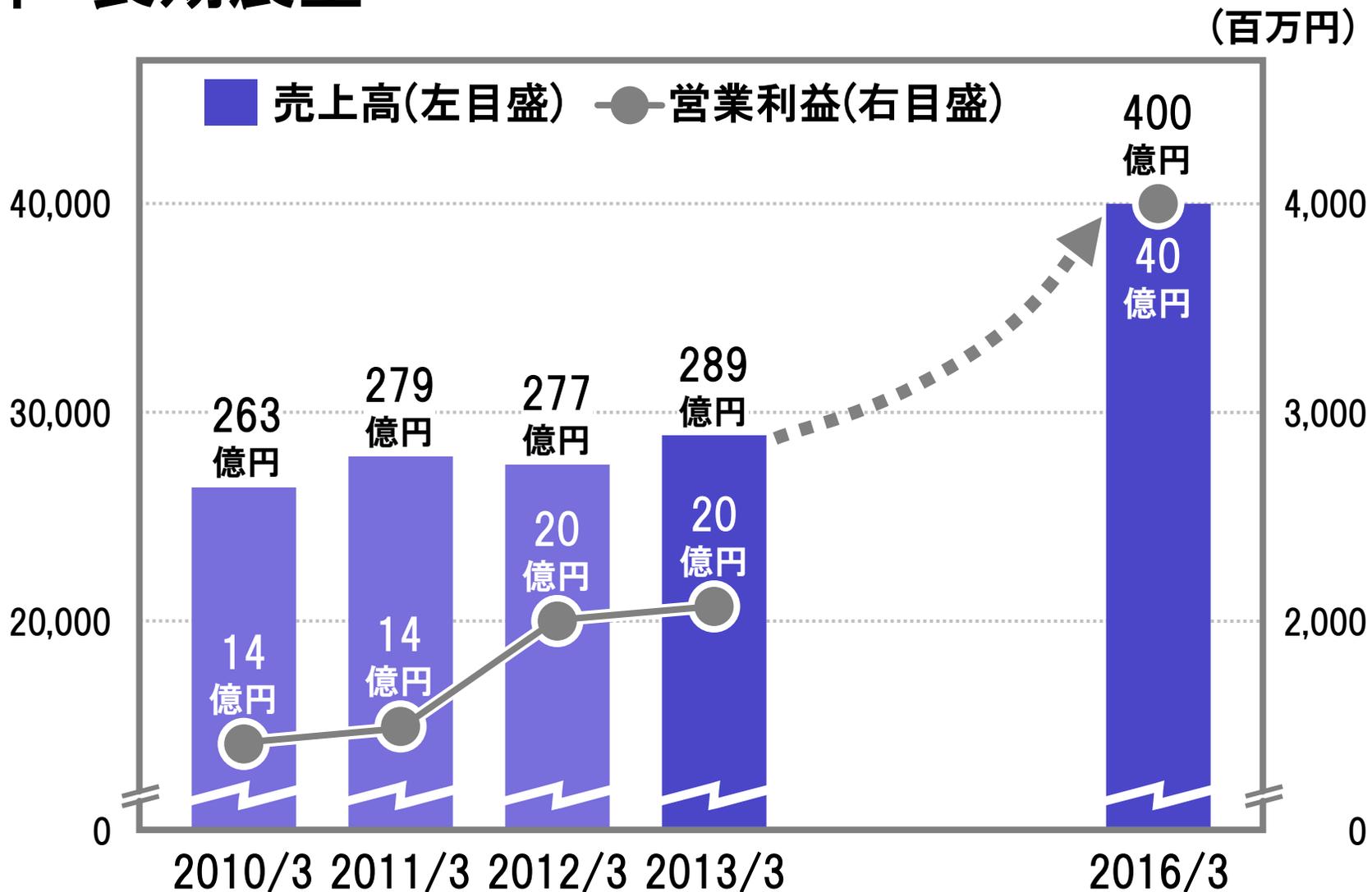


インド(ケララ州)



中国(上海)

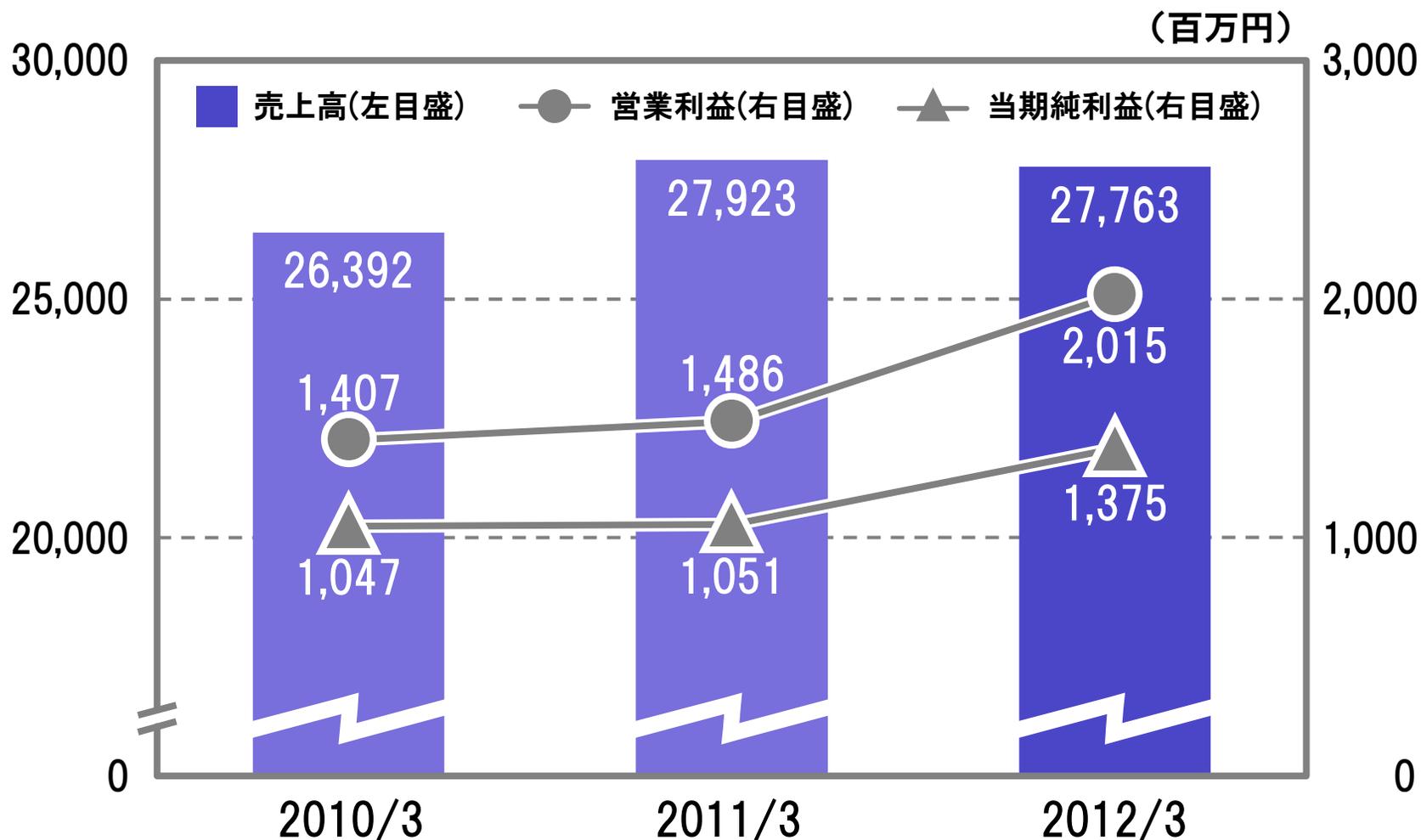
中・長期展望



「アジア圧倒的No.1、 世界オンリーワン」企業へ

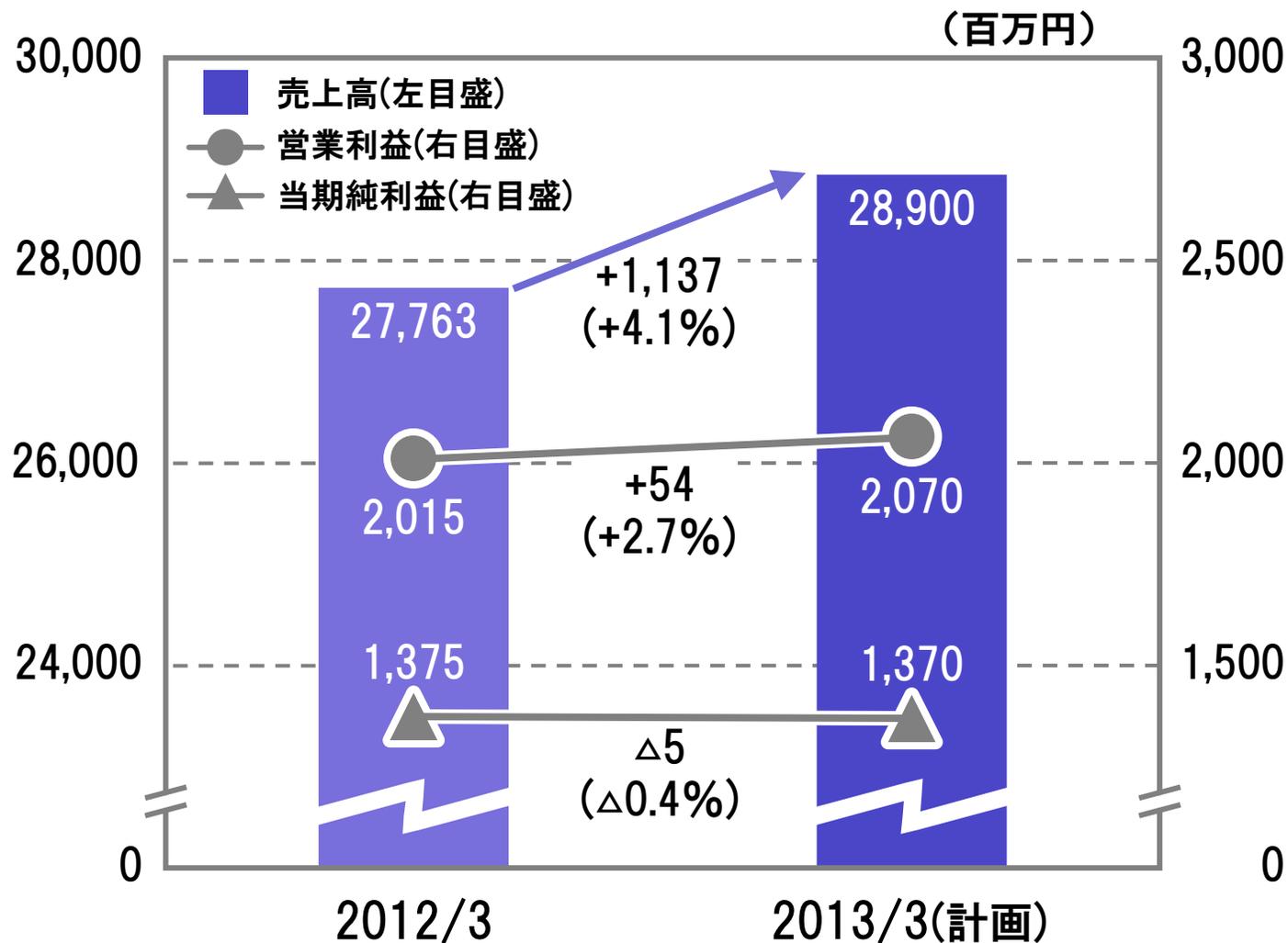
4. 2012年3月期業績

2012年3月期 業績



5. 2013年3月期見通し

2013年3月期 見通し

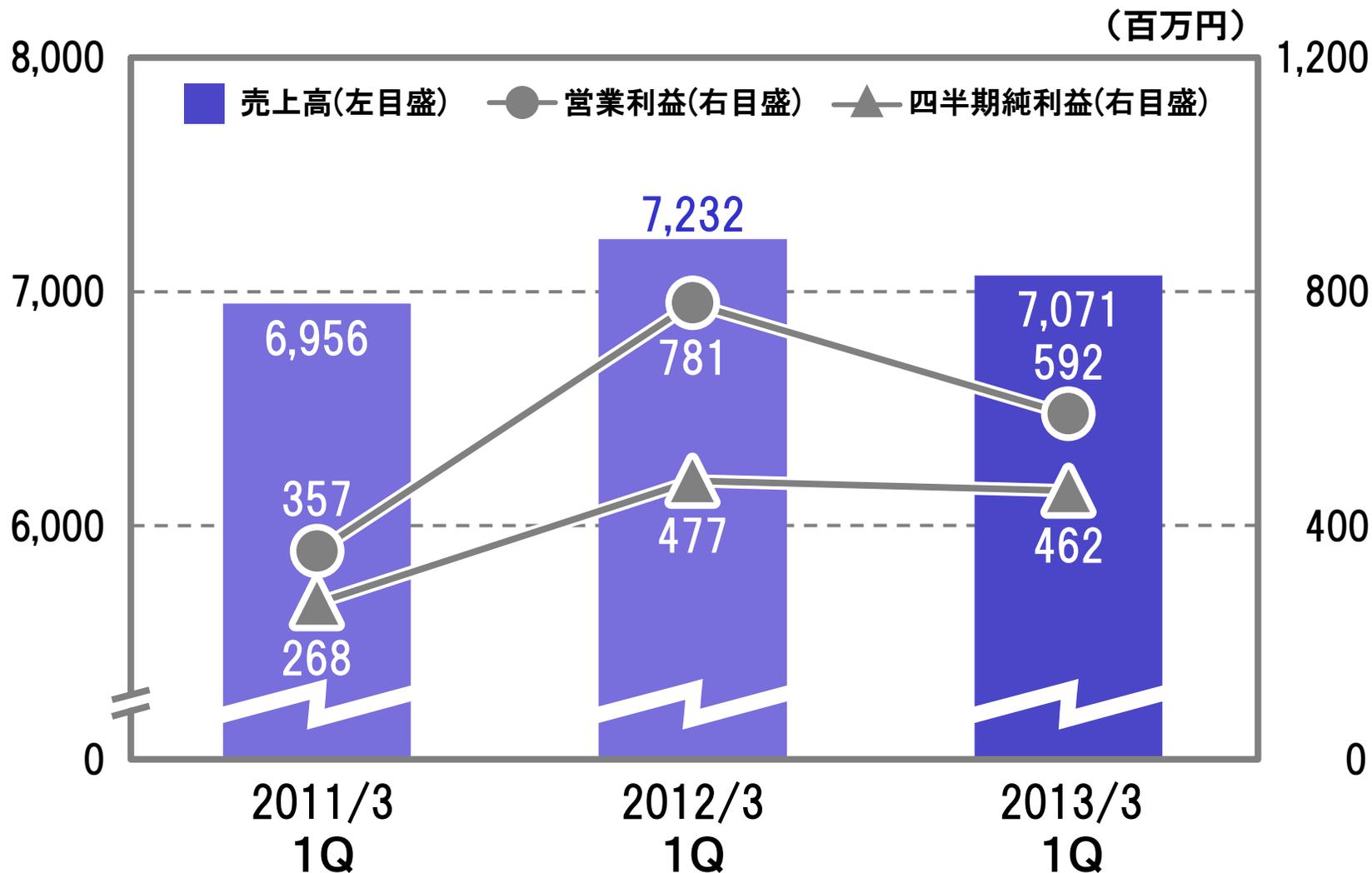


今期の取り組み

セグメント	部門	取り組み内容
コラーゲン 素材	ゼラチン	新ゼラチンの開発
	ペプチド	中国及びアジアでの事業化
	ケーシング	生産設備更新
	ライフ サイエンス	医療用ゼラチン、コラーゲンの研究開発
フォーミュラ ソリューション	食品材料	コンビニ、シニア向け食品材料の開発
	接着剤	高機能樹脂(シーラント)の事業拡大
全社		省資源・省エネ

6. 2013年3月期第1四半期業績

2013年3月期 第1四半期 業績



7. 配当政策について

当社株価指数推移

2011年12月20日上場日前日(12月19日)を100として算出



株主の皆様へ

配当方針

企業価値向上のための投資と、
安定した配当を継続することを基本とし、
配当性向15%を目安とします

株主優待制度

- 100株～500株未満：
1,000円相当の当社商品お買物優待券
- 500株以上：
3,000円相当の当社商品

8. 当社製品のご紹介

『コラゲネイド』

モンドセレクション 2012 最高金賞

を初エントリーで受賞



受賞カテゴリ: ダイエット及び健康製品



モイストワン【美容液ジェル】

2つのコラーゲンを配合

- オーストリッチコラーゲン

保湿効果を長時間バリアでキープ

- 宇和島の鯛ナノコラーゲン

内側からハリ、弾力、潤い



ご清聴ありがとうございました



グローバル・ゼラチンスペシャリスト
新田ゼラチン株式会社

9. 卷末資料

2012年3月期 通期 損益計算書 (P/L)

(百万円)		2010/3	2011/3	2012/3	前年度比
売上高		26,392	27,923	27,763	△0.6%
売上総利益		5,998	6,325	6,838	+8.1%
	利益率	22.7%	22.7%	24.6%	—
営業利益		1,407	1,486	2,015	+35.6%
	利益率	5.3%	5.3%	7.3%	—
経常利益		1,584	1,383	2,002	+44.7%
	利益率	6.0%	5.0%	7.2%	—
当期純利益		1,047	1,051	1,375	+30.8%
	利益率	4.0%	3.8%	5.0%	—

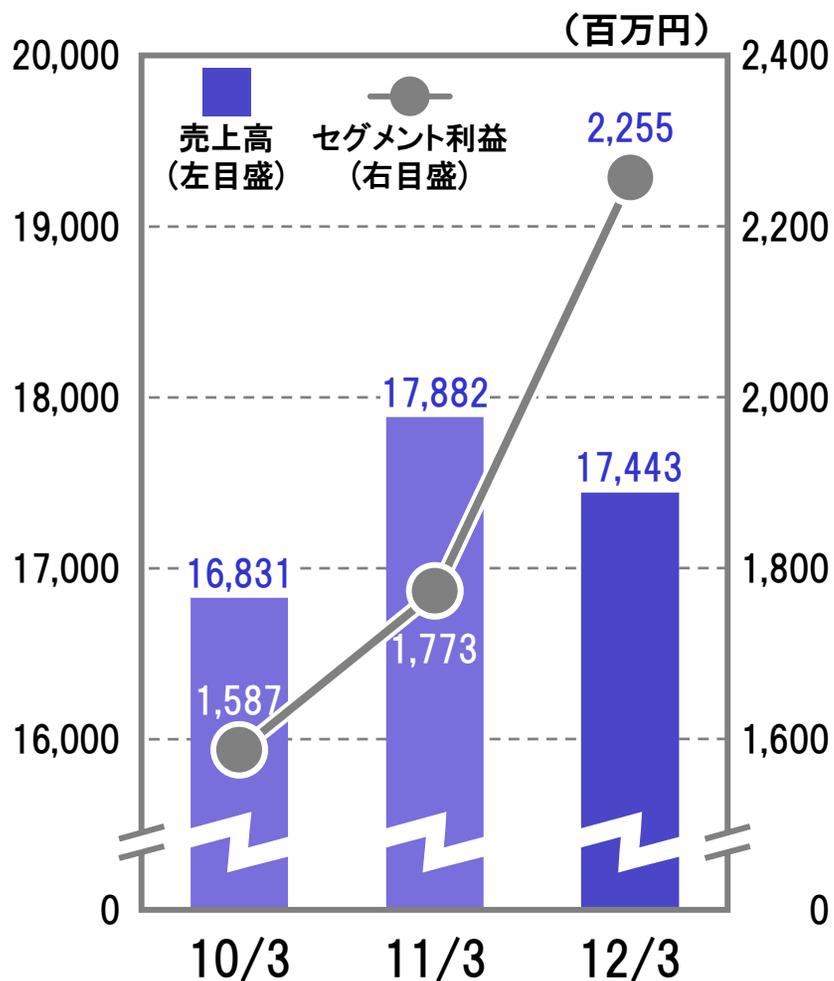
2012年3月期 通期 貸借対照表 (B/S)

(百万円)	2011/3	2012/3	増減
流動資産	12,868	14,935	+2,067
現金・預金	1,558	2,098	+540
受取手形・売掛金	5,621	6,449	+827
たな卸資産	5,370	5,971	+600
その他流動資産	317	417	+99
固定資産	8,598	8,436	△162
有形固定資産	5,537	5,387	△150
無形固定資産	20	18	△1
投資等	3,040	3,030	△9
資産合計	21,466	23,371	+1,905

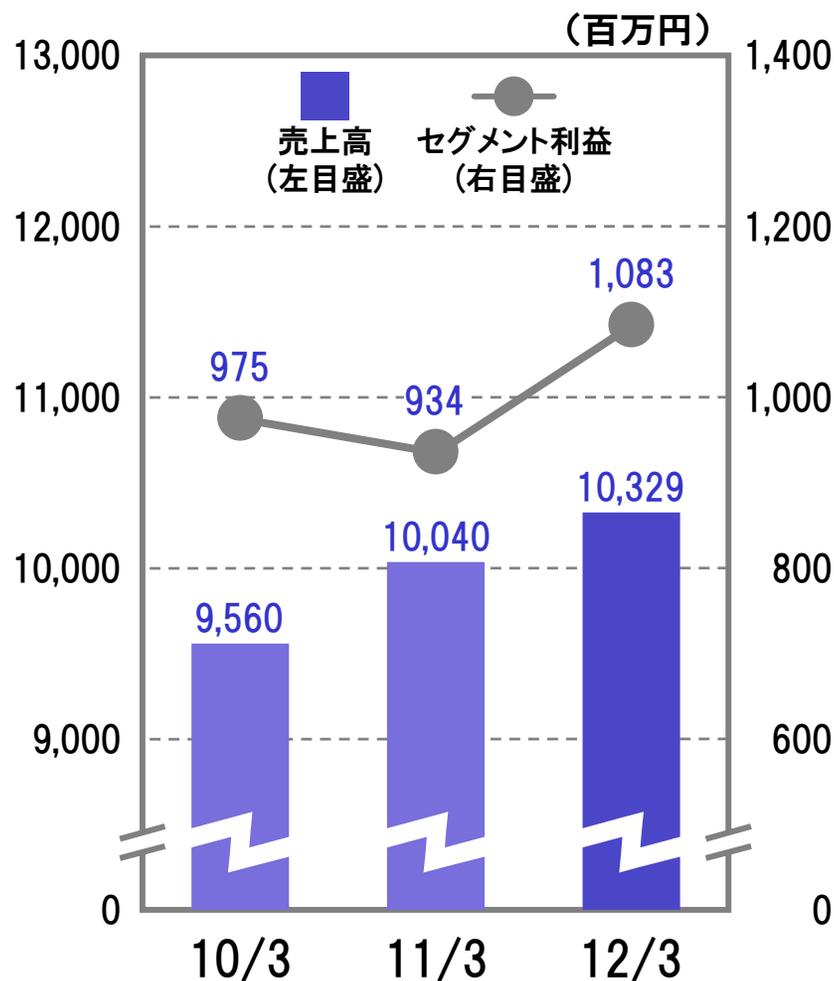
(百万円)	2011/3	2012/3	増減
流動負債	8,765	9,176	+411
支払手形・買掛金	3,537	3,476	△60
短期借入金・社債等	3,002	3,133	+130
その他流動負債	2,225	2,565	+340
固定負債	6,516	6,087	△428
長期借入金等	3,916	3,461	△454
退職給付引当金	2,162	2,158	△3
その他固定負債	438	467	+29
負債合計	15,281	15,263	△17
株主資本	7,560	9,865	+2,304
その他包括利益累計額合計	△1,435	△1,832	△397
少数株主持分	59	74	+15
純資産合計	6,185	8,108	+1,923
負債純資産合計	21,466	23,371	+1,905

2012年3月期 通期 セグメント実績

コラーゲン素材事業

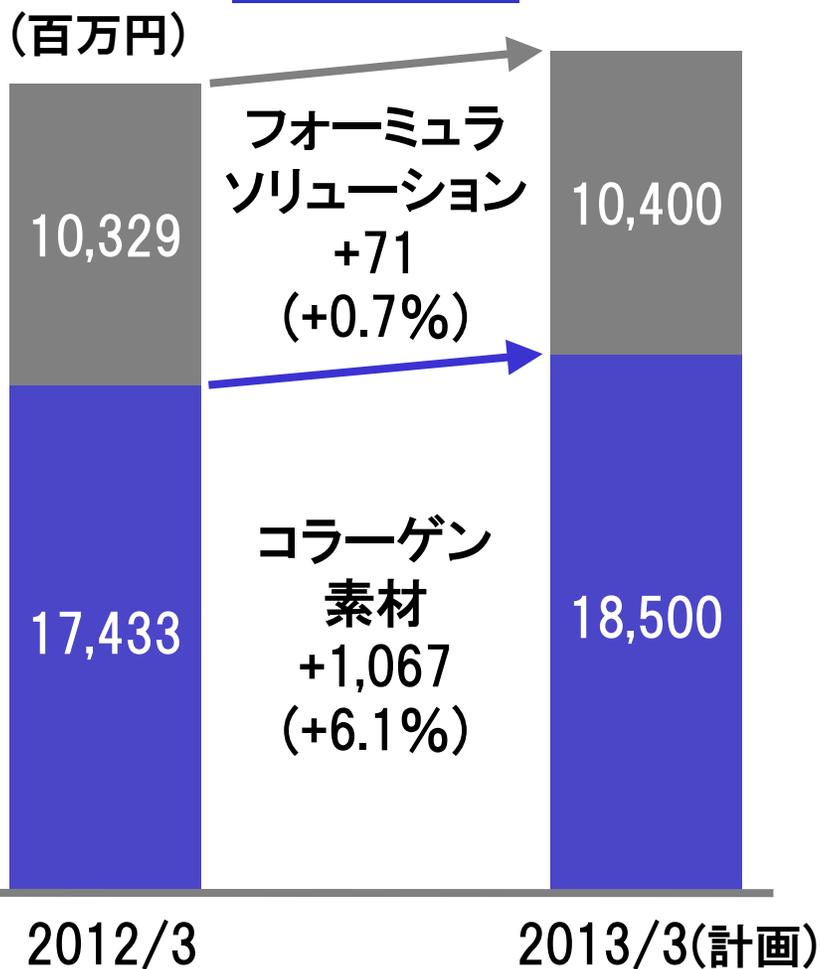


フォーミュラソリューション事業

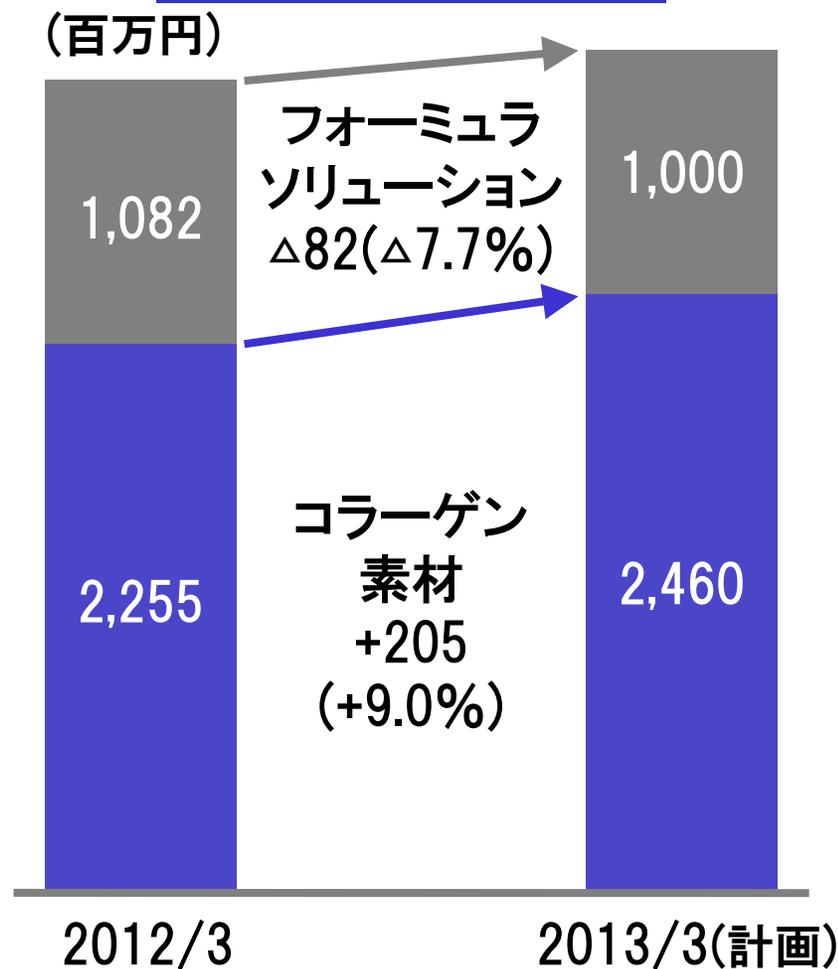


2013年3月期 セグメント別見通し

売上高



セグメント利益



投資計画

2013年3月期：2,852百万円

2013/3 主要な設備投資

(百万円)	投資額	投資効果(目標)
大阪工場 省エネ設備導入	330	CO ₂ 25%削減(2011/3期対比)
北米ケーシング 製造設備の更新	640	約30%の生産性改善
北米ペプチド 新工場の建設	1,000	生産規模1,000トン(2014年3月期稼働)

2013年3月期 第1四半期 損益計算書 (P/L)

(百万円)		2011/3 1Q	2012/3 1Q	2013/3 1Q	同期比
売上高		6,956	7,232	7,071	△2.2%
売上総利益		1,590	1,979	1,819	△8.0%
	利益率	22.8%	27.3%	25.7%	—
営業利益		358	781	592	△24.2%
	利益率	5.1%	10.8%	8.3%	—
経常利益		345	741	619	△16.4%
	利益率	4.9%	10.2%	8.7%	—
四半期純利益		268	477	462	△3.2%
	利益率	3.8%	6.6%	6.5%	—

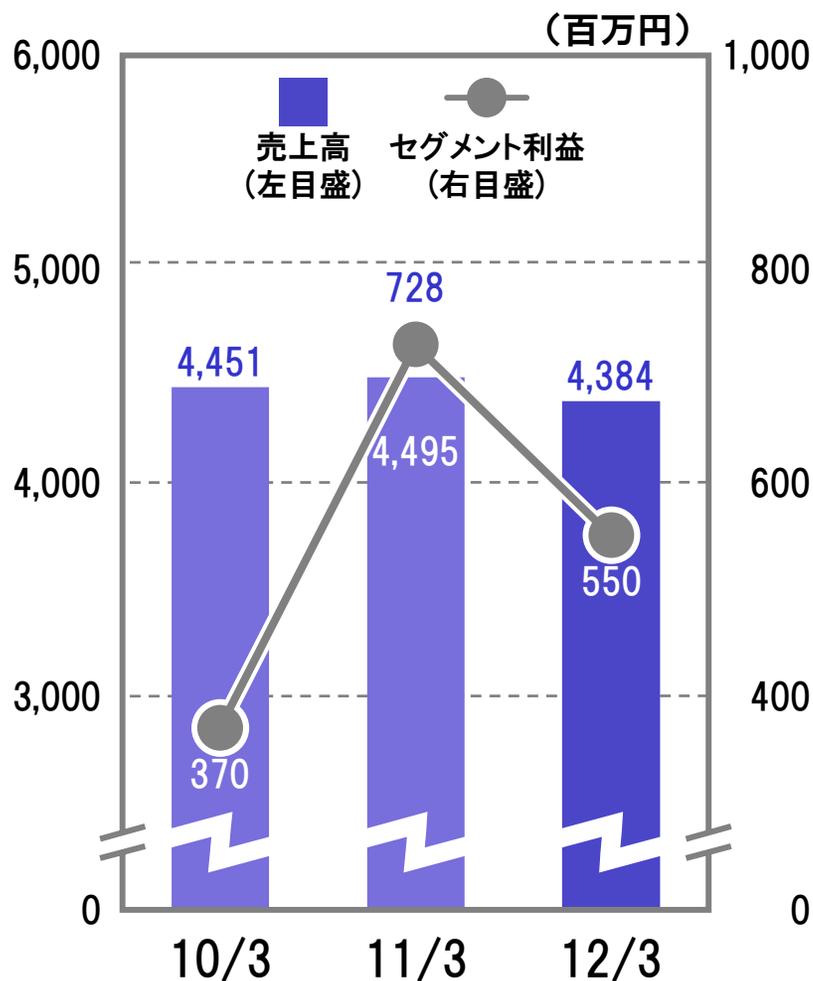
2013年3月期 第1四半期 貸借対照表 (B/S)

(百万円)	2012/3	2013/3 1Q	増減
流動資産	14,935	14,687	△248
現金・預金	2,098	1,765	△332
受取手形・売掛金	6,449	6,309	△139
たな卸資産	5,971	6,241	+270
その他流動資産	417	370	△46
固定資産	8,436	8,277	△158
有形固定資産	5,387	5,361	△25
無形固定資産	18	21	+2
投資等	3,030	2,893	△136
資産合計	23,371	22,964	△407

(百万円)	2012/3	2013/3 1Q	増減
流動負債	9,176	9,132	△43
支払手形・買掛金	3,476	3,661	+184
短期借入金・社債等	3,133	3,006	△127
その他流動負債	2,565	2,465	△100
固定負債	6,087	5,730	△337
長期借入金等	3,461	3,196	△265
退職給付引当金	2,158	2,098	△59
その他固定負債	467	435	△32
負債合計	15,263	14,862	△400
株主資本	9,865	10,201	+335
その他包括利益累計額合計	△1,832	△2,170	△337
少数株主持分	74	70	△4
純資産合計	8,108	8,101	△6
負債純資産合計	23,371	22,964	△407

2013年3月期 第1四半期 セグメント実績

コラーゲン素材事業



フォーミュラソリューション事業

